

令和3年度 指定管理者総合モニタリング評価表

施設名称	塩尻市地場産業振興センター		
所在地	塩尻市大字木曾平沢2272番地7		
指定管理者名	一般財団法人 塩尻・木曾地域地場産業振興センター		
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日（5年間のうち3年目）		
募集方法	非公募	施設担当課	産業振興事業部 産業政策課

1 業務実績（指定管理者）

当初計画	実績
<p>【地場産業の振興に関する事業】</p> <p>1 地場産品の振興に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス展示販売契約者数 30件 <p>2 地場産品の普及 及び販路・需要の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習受入件数 90件 ・利用者数（レジ通過客数） 44,000人 	<p>【地場産業の振興に関する事業】</p> <p>1 地場産品の振興に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス展示販売契約者数 28件 <p>2 地場産品の普及 及び販路・需要の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習受入件数 64件 ・利用者数（レジ通過客数） 40,232人
<p>【施設維持管理】</p> <p>1 建物保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構築物各部位の点検・保守 (屋根・外壁・建具、天井、内壁、床、階段等) <p>2 建物設備保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備運転及び監視 ・法定点検 年1回 ・消防設備点検 年2回 ・電気設備点検 年6回 ・地下タンク設備点検 年1回 <p>(機械設備、空調設備等は必要に応じて実施)</p> <p>3 備品等保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品台帳の確認・整備 <p>4 清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間清掃日数 348日 ・外構整備（草刈り等） <p>5 修繕業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕個所の確認及び修繕実施 	<p>【施設維持管理】</p> <p>1 建物保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構築物各部位の点検・保守 随時実施 <p>2 建物設備保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備運転及び監視 設備運転ごと実施 ・法定点検 年1回 ・消防設備点検 年2回 ・電気設備点検 年6回 ・地下タンク設備点検 年1回 <p>(機械設備、空調設備等は必要に応じて実施した)</p> <p>3 備品等保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品台帳の確認・整備 随時実施 <p>4 清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間清掃日数 348日 ・外構整備（草刈り等） 適時実施 <p>5 修繕業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防設備、観光機構事務スペース等修繕 7件 ・修繕個所の確認及び修繕実施 随時実施

<p>6 警備業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間警備日数（民間警備委託） 365日 	<p>6 警備業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間警備日数（民間警備委託） 365日
<p>7 駐車場管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の安全確保・維持管理 	<p>7 駐車場管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の安全確保・維持管理 随時実施 ・お盆期間中民間警備委託 5日
<p>8 除雪業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地内除雪業務 	<p>8 除雪業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地内除雪業務 積雪時実施

2 施設の利用状況(指定管理者)

利用区分等	利用目標	今年度実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
開館日数	268日	262日	291日	90.0%
施設利用者数（木曾くらしの工芸館）	44,000人	40,232人	17,457人	230.5%
体験者数	2,000人	1,609人	1,398人	115.1%
オンラインショッピング売上	1,000,000円	808,635円	642,159円	125.9%
貸館利用日数	40日	19日	42日	45.2%

3 利用目標の達成状況に対する評価・分析（指定管理者、施設担当課）

指定管理者の 評価・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防対策を行いつつ、（一社）長野県観光機構指導の下、経営改善に取り組みながら、利用者の増加及び収益の改善に努めた。 ・令和3年度は地場産業振興センターの内装の改修工事を行い、作り手がみえるレイアウトとするなど、主収益の改善及び木曾平沢の産地内を紹介できる店舗づくりを行った。 ・ホームページ、SNS等の情報発信の更新頻度を高めたことにより、オンラインショッピング売上は堅調に推移しているが、約3か月不具合に対応したため、最終的に増加が鈍った。
施設担当課の 評価・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化に伴う改修工事期間中（12月～3月）休館した影響により、施設利用者数及び体験者数は利用目標に達成できなかったが、リニューアルオープン時は多くの利用者で賑わい、次年度の増加が期待できる。 ・令和3年度は、（一社）長野県観光機構による経営改善マネジメントにより、店舗運営やイベント企画、店舗リニューアル準備等に重点的に取り組んだことで、ECサイトについては現状維持に留まっており、目標達成のためには今後、戦略的な改善が必要と思われる。

4 収支状況(指定管理者)

(単位：円)

(税抜き表示)

	項目	当初計画	実績 (ア)	前年度実績 (イ)	(%) (ア) / (イ)
収 入	・ 指定管理料	13,637,000	13,636,365	13,636,365	100.0%
	・ 事業継続支援金	0	0	15,000,000	-
	・ 使用料 (or利用料)	55,000	27,918	64,145	43.5%
	・ 事業収入	95,583,000	116,304,096	69,096,505	168.3%
	・ 自主事業収入	140,719,000	103,123,811	17,791,825	579.6%
	・ 自主事業補助金収入	5,000,000	5,000,000	5,000,000	100.0%
	収入計 (A)	254,994,000	238,092,190	120,588,840	197.4%
支 出	・ 仕入原価	60,442,000	78,428,332	43,885,417	178.7%
	・ 外注費	120,000,000	76,385,963	4,844,117	1576.9%
	・ 原材料費	518,000	501,382	2,261,256	22.2%
	・ 給料手当	30,833,000	28,778,441	26,768,595	107.5%
	・ 臨時雇用賃金	2,307,000	2,898,946	1,651,315	175.6%
	・ 退職給付	720,000	528,000	578,177	91.3%
	・ 福利厚生費	4,939,000	4,576,184	4,391,729	104.2%
	・ 会議費	169,000	6,272	28,749	21.8%
	・ 旅費交通費	636,000	158,665	1,801,332	8.8%
	・ 通信運搬費	1,871,000	1,895,702	1,549,846	122.3%
	・ 消耗什器備品費	82,000	405,545	265,943	152.5%
	・ 消耗品費	1,758,000	1,885,220	1,791,980	105.2%
	・ 修繕費	1,819,000	809,173	255,964	316.1%
	・ 印刷製本費	197,000	259,207	384,520	67.4%
	・ 燃料費	2,120,000	2,736,842	1,792,467	152.7%
	・ 光熱水費	2,826,000	3,242,860	2,930,218	110.7%
	・ 賃借料	4,786,000	3,976,040	2,819,733	141.0%
	・ 保険料	825,000	777,831	965,506	80.6%
	・ 租税公課	181,000	716,300	2,095,202	34.2%
	・ 振興費	225,000	94,854	51,325	184.8%
	・ 負担金支出	743,000	344,169	367,007	93.8%
	・ 諸謝金	265,000	107,046	118,182	90.6%
	・ 委託費	13,537,000	12,408,227	7,250,497	171.1%
・ 支払手数料	1,219,000	902,204	1,025,165	88.0%	
・ 支払利息	104,000	53,506	115,086	46.5%	
・ 広報費	201,000	1,184,122	114,182	1037.0%	
・ 雑費	92,000	20,339	10,189	199.6%	
	支出計 (B)	253,415,000	224,081,372	110,113,699	203.5%
	収支 (A) - (B)	1,579,000	14,010,818	10,475,141	133.8%

5 財務状況を示す指標（指定管理者）

指 標	当年度	前年度
自己資本比率（資本/資産×100）	48.0%	43.3%
負債比率（（流動負債+固定負債）/資本×100）	108.5%	131.2%
固定比率（固定資産/資本×100）	69.2%	97.1%
流動比率（流動資産/流動負債×100）	128.4%	102.2%
総資産経常比率（経常利益/総資産×100）	15.2%	12.7%

6 職員の配置状況（指定管理者）

当初配置計画	配置実績
事務局長（統括責任者）1名、課長（店長）1名、係長2名（副店長1名、総務・会計1名）、パート4名、アルバイト2名	事務局長（統括責任者）1名、課長（店長）1名、係長2名（副店長1名、総務・会計1名）、パート4名、アルバイト2名

7 自主事業の状況（指定管理者）

当初計画	実 績
<p>【補助金等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）長野県観光機構指導の下、経営改善に取り組む、店舗マネジメントを中心に、職員の育成などを実施する。また、マーケティング調査も行い、ビッグデータから現状の把握を行い、今後の事業推進に役立てる。 ・大規模展示会に産地が主体となり出展することから、木曾漆器をPRするために、事務作業等の人的協力をを行う。 <p>【PR・イベント事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等の情報発信を行う。 ・イベント等は有効性等を見極めた上で参加する。 <p>【文化財修復等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曾漆器の技術を活かし、文化財等の修復業務を受注する。新日本様式100選に選定された「文化財保存修復の地場産業化プロジェクト」は、木曾漆器における後継者育成、技術伝承、需要拡大を図る。 ・伊那市の寺院の納骨棚の制作を実施し、作業の一部を施設内で公開する。 	<p>【補助金等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）長野県観光機構指導の下、経営改善に取り組む、店舗マネジメントを中心に、職員の育成などを実施した。また、マーケティング調査も行い、ビッグデータから現状の把握を行い、今後の経営改善に取り組んでいく。 ・大規模出展にもコロナ後1年ぶりに出展、木曾漆器をPRするために、事務作業等の人的協力を行った。 <p>【PR・イベント事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で大半のイベントが中止となる中、施設内のにぎわい創出のために各種イベントを開催した。 ・店舗リニューアルに伴い、従来の漆器販売に特化した展示から、職人の技術をPRし、販売につなげるレイアウトに変更した。 <p>【文化財修復等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引実績のあった事業者と情報交換を行いつつ営業活動を行った結果、4件の事業を行った。 ・本年度は特に伊那市の寺院の納骨棚の制作を中心に、かつ作業工程を来館者に見えるようにすることで、木曾漆器のPRも併せて行った。

8 評価（指定管理者、施設担当課）

評価点は5段階としており、仕様書・事業計画等に対する達成度から判断します。

例えば、計画どおりの達成度であれば評価点は「3」となります。

評価項目の性質で、付けることができる評価点が制限されている項目があります。

評価点	達成度
5	: 120 % 以上
4	: 101 ~ 119 %
3	: 81 ~ 100 %
2	: 61 ~ 80 %
1	: 0 ~ 60 %

(1) 実施体制に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
施設運営状況	1	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	2	施設の目的が十分機能しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	3	施設の利用者数や稼働率は適正か	1	2	③	4	5	1	②	3	4	5
危機管理体制	4	避難経路が適切に確保されている等、利用者の安全が確保されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	5	危機管理に関するマニュアル等が整備され定期的に訓練等を行っているか	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
	6	事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
職員体制	7	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	8	スタッフのシフトは適正であるか(労働基準法を遵守しているか)	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	9	事業計画書に則した教育・研修を実施したか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
記録・情報管理体制	10	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	11	協定書等で定められた事業計画書・報告書等を提出しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	12	情報公開に関する規定が整備されているか	1	-	③	-	-	①	-	3	-	-
	13	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	14	個人情報保護に関する規定が整備されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	15	個人情報等の管理は適切か	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	16	情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
(1) 評価点合計 (16項目)			47					44				

(2) 収支等の評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
経理状況	17	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	18	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	1	②	3	-	-	1	②	3	-	-
	19	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	20	利用料収入などの現金管理等が適切に実施されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
収支状況	21	事業収支は妥当か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	22	財務状況を示す指標の異常値、大幅な変動がないか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	23	計画どおりに経費節減の取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	24	計画以外に経費節減に向けた取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
(2) 評価点合計 (8項目)			23					23				

(3) サービス等の内容や水準に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
利用者へのサービスの状況	25	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	26	言葉づかい、態度、服装等の接遇は適切か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	27	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当か	①	2	3	-	-	①	2	3	-	-
	28	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	29	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	30	施設のホームページは効果的に運用されているか	1	2	③	4	5	1	②	3	4	5
	31	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みができていますか	1	2	③	4	5	1	②	3	4	5
事業の実施状況	32	事業計画書に則し、指定管理事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	33	施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	34	各事業への参加や施設利用促進に向けた取り組みを積極的に行っているか	1	2	③	4	5	1	2	3	④	5
維持管理状況	35	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	36	施設や設備の点検・管理を適切に行い、履歴を適切に整理・保管しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	37	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	38	市と指定管理者の備品が明確に区別されており、台帳により適切に管理されているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	39	外部委託内容は事前に市の承認を受けており、委託先に協定書等を遵守させているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	40	省エネルギー、省資源等環境への配慮がされているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	(3) 評価点合計 (16項目)			46					45			

※No.39は外部委託がある場合のみ評価する。

(評価点の総計)

評価点総計 (満点164点)	指定管理者	116点	70.7%	施設担当課	112点	68.3%
----------------	-------	------	-------	-------	------	-------

8 (総括) 評価に対する考え方 (指定管理者、施設担当課)

評価項目	評価項目No.とその評価点を付けた理由			
	No.	指定管理者	No.	施設担当課
(1) 実施体制	1 2 3	協定書及び仕様書に基づき、施設利用の利便性の向上及び利用者の安全確保に努めた。	3	企画展示室・シアターの有効活用による稼働率向上について対策を検討中につき、今後の取組に期待する。
	5	災害等に加え、新型コロナウイルス感染防止対策マニュアルを作成したものの、訓練が実施できなかった。	12	情報公開に関する規定は整備されていない。(情報公開の実績なし)
	9	(一社)長野県観光機構の指導の下、経営改善に努め、職員の教育・研修を図った。	9	マネジメント契約を締結している(一社)長野県観光機構の有識者(小売業)を講師に職員研修を実施し、地場産品販売業務に生かしている。
(2) 収支等の評価	18	指定管理料は、協定書等に基づき適正に利用しているが、固定費の引き落とし等があることから、専用口座にできない。	18	昨年度の外部モニタリングでも説明したとおり、固定費等の管理の都合上、通帳は分けられない。
	21	R3年度は、伊那市の寺院の納骨棚制作もあり、安定した利益が確保できた。今後は工芸館単体で黒字化できるよう、引き続き努める。	21	文化財修復事業において大型受注があり、黒字決算となった。次年度は大型受注がない中でどう黒字化していくのが課題。
	23 24	館内の大規模改修の際に照明LED化を行い、かつ必要な修繕についても併せて行うことにより、効率化を図った。	23	経費については、内容を精査した上で、節減に取り組みつつ、支出については事業計画に基づき、選択と集中を意識している。
(3) サービス等の内容や水準	32 35 36	事業計画に基づき、施設運営などの指定管理事業を適切に行っている。	27	利用者アンケートは実施しておらず、利用者からの声を取りまとめているのみ。
	27	利用者アンケートについては、リニューアルオープン等も行ったことから、実施できなかった。	30	オンラインショップの商品更新が少なく、古い情報が掲載されていることもあった。
	30	ホームページや各種SNSを活用し、工芸館の情報だけでなく、取引先を中心とした地域の情報発信にも努めた。	34	利用者増加を目指し、新規イベント・企画に取り組んだ。改修工事に合わせ、利用者目線に立ったレイアウト変更を行い、リニューアルオープン時は大盛況となった。

9 総合評価（指定管理者、施設担当課）

指定管理者	<p>■自己評価</p> <p>・新型コロナウイルス感染予防対策を行いつつ、（一社）長野県観光機構指導の下、経営改善に取り組みながら、利用者の増加及び収益の改善に努めた。</p> <p>・令和3年度は文化財修復等事業により増益となったことから、大規模改修に併せて什器等を購入した他、観光機構による取り組みに係る費用についても当初計画がなかったものにも積極的に取り組み、集客・売り上げの向上につなげることができた。</p>
	<p>■今後の改善策（短期的に対応可能なもの）</p> <p>・令和3年度から行われている大規模改修による施設の安全性、効率性の向上（令和4年度は外壁、雨漏り等改修を実施）。</p> <p>・観光機構の協力により、施設活用の活性化と、店舗利用者向上による売上確保等による健全な経営を目指す。</p>
	<p>■今後の改善策（長期的に取り組むことで課題解決を図るもの）</p> <p>・観光機構の指導の下、経営改善による店舗運営・ソリューション解決などの人材育成を図る。</p> <p>・センターの意義等を再構築し、関係団体との協調など、施設の活性化による拠点整備を行う。</p>
	<p>施設担当課</p> <p>・建物の老朽化に伴う改修工事を実施し、設備更新や建物内部の改修工事と連動しながら、仕様書に基づく施設維持管理業務を適切に実施した。</p> <p>・規定の未整備、避難訓練の未実施、アンケート調査の未実施については、改善を求める。</p> <p>・（一社）長野県観光機構と経営改善マネジメント契約を締結したことで、有識者による研修や、毎週の定例会議（売上や事業内容の振り返り、イベント企画等）、新規イベント等に積極的に取り組み、週末の利用者及び売上の増加といった一定の成果を得た。</p> <p>・令和3年度は、自主事業である文化財修復事業で大型受注があり黒字決算になったが、経営の安定化に向けては指定管理業務単体での黒字化を目指していく必要がある。引き続き（一社）長野県観光機構と連携して積極的な取組を進めながら、職員の意識改革、有識者のノウハウ習得に期待する。</p>